

# 京葉会新聞

## 創刊号

### 「京葉会新聞」の発刊に際して



世話人代表 長嶋良一  
京葉会の皆様  
いかがお過ごしでしょうか。  
お陰様で日退協京葉会は昨年、

創立10周年を迎えることができました。

京葉会は東京23区内と千葉県にお住いの会員を中心とした地域会としてこれまで様々なイベントを企画実施してきました。現在100人を超える会員がおります。

新型コロナ感染の影響で活動が制約されていますが、今後も感染対策を徹底して幅広く様々なイベントや活動を企画していきたいと考えています。

この「京葉会新聞」は京葉会10周年を期に新たに会員の皆様の交流の場として活用していただく為に発刊いたしました。これから年数回の頻度で発行していきたいと思っておりますので、皆様からの原稿や写真（テーマは自由）および俳句・川柳の作品などをどしどし幹事までお寄せいただきますようお願いいたします。「京葉会新聞」はメール及び協会ホームページに公開していく予定です。ぜひとも皆様からの京葉会に対するご意見・ご要望などをお送りください。

京葉会が皆様にとり親しみやすい集まりとなりますよう努めてまいりますので、今後とも積極的にご参加いただきますようお願いいたします。発刊のご挨拶といたします。

### 塩瀬の帯



着物姿に欠かせるのが「帯」。帯には種類、格、合わせる着物などルールが多い。

「着物一枚に帯三本」と言われているように、帯は着物にとって非常に大切な役割を持っています。帯は着物姿の第二の顔と言われることもあるほど周りから注目されるポイントです。帯は袋・名古屋・半幅と3種類に分かれています。若い頃、塩瀬の帯を誂えましたが締める機会がなく、ずっと箆笥の肥やしになっていました。いつか締めたいたいながらも帯に釣り合う着物がありませんでした。たまたま、夏に浴衣の帯を買いに行った時に江戸小紋の着物を勧められました。絶対買わないと心に誓っていたのですが塩瀬の帯がデビューできるのではと思い、仕立てを依頼し、2023年初出勤の日にやっとデビューができました。自分なりに満足できた一日でした。

(文・生け花・着物モデル 増田正子)



梶森神社

1月11日(水)世話人会の前に人形町にある梶森神社に世話人全員で初詣をし、京葉会の会員の皆様の健康と平安をお祈りしました。

梶森神社は1000年もの昔に創建された日本橋七福神で巡る七つの神社のひとつ。恵比寿神は福の神として知られ境内には江戸時代の富興行を記念した富塚もあり宝くじ当選のパワースポットにもなっています。(後藤)

### 記念講演

#### 京葉会10周年を迎えて

田林 巖樹



京葉会は富川氏が提唱され、チバ・メット(メトロポリタンの)の会と名付けて二〇一二年に発足しました。

佐久間さんのご尽力で今日の京葉会

の隆盛があります。昨年、佐久間氏のご逝去を悼み会員の皆様で追悼会が開かれました。

これまでの会の隆盛には吉川理事長に負うところが大きいと思います。毎年開かれるスタダ漁は京葉会の恒例行事となっており楽しいイベントとして活性化の一翼を担っています。

現在の代表・副代表を中心に皆さんの

努力で会を運営していかれるようお願いいたします。今後の活性化への喫緊の課題としては会員の増強があります。その為には魅力あるイベントを企画・実施をしていく事が必要です。

また、現法人会員のメリット提供や新たな法人会員の加入には個人会員への商品斡旋の実施が有効だと思えます。更に内閣府や他の高齢者団体との連携を図っていく必要があります。著名人による講演会や小旅行会などの開催も考えてほしいと思えます。

10周年に当たり京葉会の益々の発展を願っています。

(抄録 長嶋)